

# 大阪万博と持続可能な経済社会

G1 班

宮城県仙台第三高等学校

経済は社会活動と切っても切れぬ関係性にあり、社会の変化は経済の動向に多大な影響を与える。そして、その「社会の変化」の一つとなるのが大規模な行事の開催である。私たちは、東京五輪の5年後(注1)に大阪で開かれる予定の「2025年日本国際博覧会」(注2)に着眼した。国際的行事が短期間のうちに二度開かれるため、日本経済に大きな影響を及ぼすと考えたためである。

この探究活動(注3)において、大阪万博の次代に照準を当てたAIやVRなどのテーマ設定、過去に日本で開催された万博が多大な経済効果をもたらしたという事例、さらに会場建設費が増加傾向にあることから、大阪万博が経済への好影響をもたらす可能性がみえてきた。一方、大阪万博に関する企業の意識調査から、その影響は必ずしも日本全体に及ぶものではないということもわかった。

※注1：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020年東京五輪は1年の延期が決定されている。

※注2：以下、「2025年大阪万博」または「大阪万博」と表記する。

※注3：これは新型コロナウイルスの感染拡大以前の2019年に行ったものであり、同感染症による社会活動や経済動向への影響については勘案しないものとする。

## 1 背景

2020年に東京五輪を控えた現在、建設業への投資や訪日外国人の増加など、開催前にも関わらず経済への好影響が生まれている。したがって、私たちは大規模なイベントと経済の関係に焦点を当て、それによる効果に関して探究活動を行うこととした。

その中で着眼したのが、大阪・夢洲(ゆめしま)で開催が予定される「2025年日本国際博覧会」である。大阪万博は、前述のとおり昨今関心の高まるこの東京五輪の開催から5年後にあたる。そのため、私たちは東京五輪で生まれる経済効果との相乗効果による経済面での成長が期待できるとの仮説を立てた。本稿では、これについて探究を行う。

## 2 材料と方法

まずは、2025年に行なわれる大阪万博について、その開催意義を調査する。万博のテーマや開催目的から、どのような分野の業種に経済的な影響が及ぶかを考察する。

また、万博の経済効果に関して、過去の万博のデータを調査する。調査する博覧会については、過去に日本で行われたものを取り上げ、日本における万博のもつ経済的効果を読み取る。

さらに、大阪万博に対して企業がどれほどの関心を示しているか調査し、将来的な万博関連事業の見通し、また経済への影響を考える。

## 3 結果と考察

### 3-1 結果とデータ

2025年大阪万博のテーマは、「いのち輝く未来社会のデザイン」である。国連の掲げる持続可能な経済目標・SDGsが達成される社会の確立、並びに仮想空間と現実空間を高度に融合した「Society5.0」の実現を目指す。

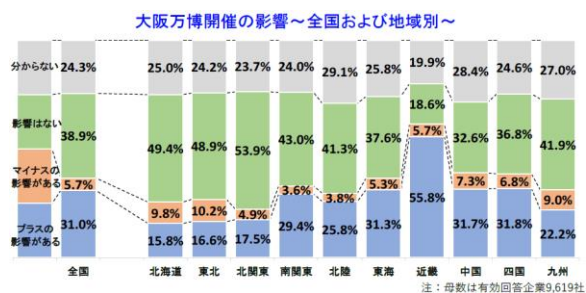
次に、過去に日本で開催された万国博覧会における経済効果についてである。【図1】に示すのは、過去に日本で行われた博覧会における経済効果を示したものである。これらはいずれも産業関連調査表を用いての経済効果分析であるが、各博覧会ともに数兆円規模の経済効果を生

んでおり、2025年大阪万博においても過去5回に迫る規模の波及効果が予測されている。

【図1】過去の万博における経済効果

年	万博名	開催地	経済効果
1970	大阪万博	大阪	4.95兆円
1975	沖縄海洋博	沖縄	0.12兆円
1985	つくば科学博	茨城	1.20兆円
1990	国際花と緑の博覧会	大阪	1.20兆円
2005	愛知万博	愛知	2.80兆円
2025	大阪万博	大阪	1.90兆円

また、【図2】は(株)帝国データバンクによる「大阪万博に関する企業の意識調査」の結果を示したものである(注4)。これについて、まず大阪万博の影響を地域別に見ると、関西の企業は半数以上が大阪万博について「プラスの影響がある」と答えたのに対し、その他の地方では3割前後であり、開催地から地理的な距離のある「北海道」「東北」「北関東」では1割程度に留まっている。



【図2】

※注4：調査期間は2018年12月14日～2019年1月7日、調査対象は全国2万3,059社で、有効回答企業数は9,619社(回答率41.7%)。

### 3-2 考察

2025年大阪万博でのテーマや目標から、この博覧会では次世代に向けた事象に着眼していることが読み取れる。特に「Society5.0」はこれまでの狩猟社会から情報社会には実現し得なかったものであること、また仮想空間を取り入れ

た社会を構想していることから、大阪万博においてはAI(人工知能)やVR(仮想現実)といった、近年勃興した分野が中心になると考えられる。これにより、新たな市場の開拓、またそれによる経済の活性化が期待される。

また、過去の万博の事例を見ると、施設の建設費や博覧会の運営費、来場者の消費を勘案すると、いずれも数兆円規模の経済効果をもたらすことがわかる。各博覧会における経済効果を比較すると、日本で初めて開かれた1970年の大阪万博が突出しているが、これは高度経済成長期における日本の様子を象徴したものであると推察される。2025年の大阪万博に関しては2億円に迫る額の経済効果が生まれるとの試算が出ているが、1985年や2005年との相違点として直近に世界規模のイベントが日本で開かれること、または建設費の高騰などが挙げられる。いずれにせよ、万博は日本経済に大きな効果を持つことが過去のデータから読み取れる。

一方で、企業の万博に対する意識調査の結果から、地域間に大きな差異が生じていることがわかった。開催地である近畿地方には、大阪万博によるプラスの影響があるととらえる企業が半数あるが、その他の地域では3割程度、また大阪から離れた地域ではその割合が2割にも満たない。このことから、大阪万博による経済的な恩恵を受けるのは、開催地に近い地域に限定される可能性が考えられる。しかし、大阪万博により「マイナスの影響がある」と答えた企業は、各地方とも1割以下である。そのため、大阪万博が日本経済を減速させることは考えにくいといえる。

結論としては、2025年大阪万博が新市場の開拓によって経済の好循環を生む起爆剤となること、元来万博そのものが経済に好影響を与えていること、さらに企業の万博に対する意識調査から、影響する地域が限定的にな

る可能性もあるが、日本経済の成長に間違いなく寄与するということである。

他方、東京五輪における経済効果との関係性や、大阪万博で生まれた好景気を持続される具体的手法について、本稿では不十分な検討しか行えなかった。今後、さらなる考察が必要である。

#### 【参考文献】

- ・ 一般社団法人 2025 年日本国際博覧会協会  
<https://www.expo2025.or.jp/>
- ・ 株式会社 帝国データバンク  
<https://www.tdb.co.jp/report/watching/press/p190108.html>
- ・ 愛・地球博の経済効果について - EXPO 2025  
[http://www.expo2005.or.jp/jpn/press/press051109\\_11.html](http://www.expo2005.or.jp/jpn/press/press051109_11.html)
- ・ 2025 年大阪万博が決定、55 年ぶり  
- 2018 年 11 月 24 日 日本経済新聞 朝刊